

月刊セキュリティ研究

特集

2007年 オフィスセキュリティプロダクト

アマテックス イトーキ クマヒラ クリテックジャパン
スリーディー セキュリティデザイン CSPセントラル警備保障
チェックポイントシステムジャパン 松下電工

危機管理体制

奈良県

災害が少ない県で耕し続けた住民の危機意識

2007

7

Event Watching

第4回 情報セキュリティEXPO

松下グループ パートナーミーティング2007

Security
Specialist
Association

注目の企業紹介

株式会社 ゼロ・インフィニティ

Info

特定非営利活動法人 NBCR対策推進機構
特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会
特定非営利活動法人 日本防犯学校
学術社団 日本安全保障・危機管理学会
ASIS International 日本支部

連載

ニーモニックNEWS
ザ・ボディーガード
防犯・防災グッズ
しあわせ通信

巻末
特集

セキュリティ業界有力企業一覧

盗聴防止対策白書【2007年版】 発刊

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会

専務理事・事務局長 佐藤健次

弊協会も発足して早や5年を迎えようとしております。弊協会では通信傍受(盗聴防止)対策部門において、業界の浄化およびコンプライアンスを重視した真の盗聴探査技術者を育成すべく、情報安全管理士・通信傍受対策技士(二種・一種・特殊二・特殊一)という段階にて資格認定試験を実施してまいりました。おかげ様で、ヤマトホームコンビニエンス株式会社、大手警備会社など大手企業から全国的に業務委託を受け、情報安全管理士は日夜努力しております。

この度、日本国内初の試みとして、通信傍受(盗聴防止)対策の研究成果をまとめた「盗聴防止対策白書【2007年版】～情報セキュリティ対策の一環である盗聴防止対策に関する一考察～」を発刊いたしました。

【作成の背景】～特に法人盗聴対策が主体～

最近、企業間における経済競争は、国内のみならず国際的にもますます激しさを増してきています。先端技術及び知的所有権を主張する企業にとっては、今まで以上の情報セキュリティに関する予防・予知の重要性を認識しなければなりません。

情報漏洩はネットワークシステム(ITシステム)の問題のみならず、ヒューマンファクターと思われる事件が毎日メディアをにぎわしています。終身雇用制の崩壊、人材派遣システムの定着化による状況下では益々、内部告発者、退職職員、派遣社員、アルバイト等による情報流出が続発していくことが予測されます。

この様な、事態に対する予防・予知の現実から、色々な対策はあるが、特に友好的な手段として通信傍受(盗

聴防止)対策が挙げられます。通信傍受対策による予防・予知の重要性を認識することが大事であり、大手の警備会社も情報セキュリティ対策の一環として、盗聴器探査サービスを開始しています。

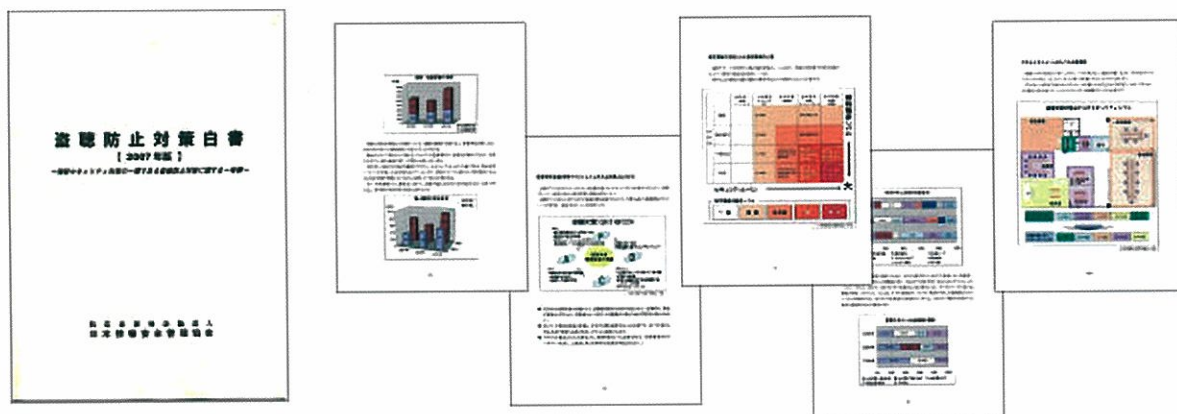
そのような状況を踏まえ、「盗聴防止対策白書【2007年版】」は、日本情報安全管理協会に届けられた通信傍受対策に関する相談や弊協会が2004年より実施している「通信傍受対策の顧客実態に関するアンケート調査」に基づき、実際にその対策を実施している個人や企業のプロフィールを分析し、今後の通信傍受対策についての必要性をまとめたものです。

「盗聴防止対策白書【2007年版】」は、情報セキュリティ対策の一環として必ず実施されるべき一項目であるという認識を国内に啓蒙・啓発を進めていくことを目的としてこの度作られました。

【白書概要】

～メインテーマとして～

1. 2004年から2007年まで蓄積された「通信傍受対策顧客実態に関するアンケート調査」の分析
2. 東京都消費生活総合センターにおける「盗聴」に関する相談状況
3. 日本情報安全管理協会運営「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」相談状況
4. 引越に伴う盗聴器探査サービス実施状況(ヤマトホームコンビニエンス株式会社)
5. 「日本の企業における今後の盗聴対策に関する一考察」(大手警備会社との協働による)



～サブテーマとして～

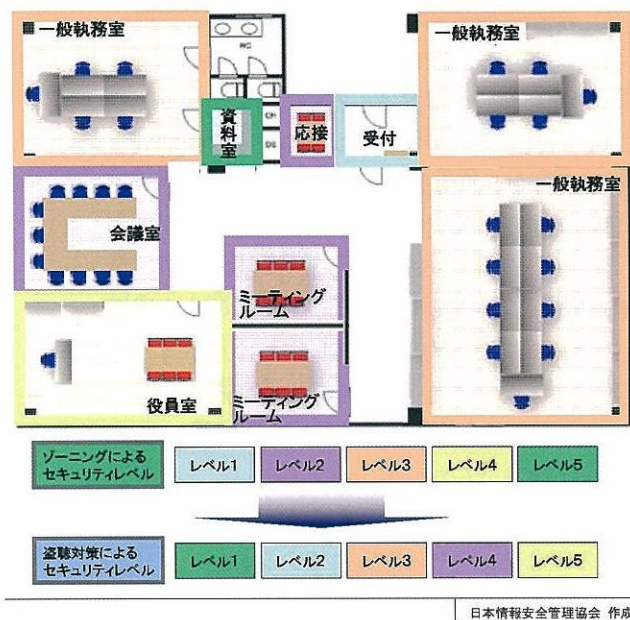
◆「月刊セキュリティ研究」論稿～日本情報安全管理協会 活動実態報告～

◆「見えない侵入者撃退マニュアル～これだけ知ればもう恐くない～」～啓蒙・啓発資料として～

「盗聴防止対策白書[2007年版]」より

セキュリティゾーンレベルの差異性

盗聴対策の視点からのセキュリティレベル

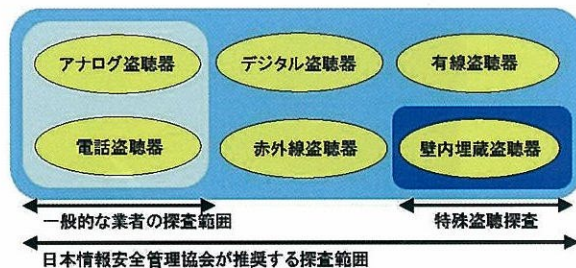


音声機密情報の分類

		レベル1 貴客室 サーバールーム	レベル2 エントランス 受付	レベル3 一般執務室	レベル4 応接室 ミーティングルーム	レベル5 役員室 会議室	情報機密レベル ↓ 大
利用者	顧客		取引情報		新商品製造計画		
	取引業者		取引情報		新商品製造計画		
	一般社員		取引情報	研究開発の動向 新商品製造計画 営業情報	本支店 研究開発の動向 新商品製造計画 営業情報	キーパーソン情報 客室情報 役員情報の動向 研究開発の動向 営業情報	
	役員		取引情報	研究開発の動向 新商品製造計画 営業情報	本支店 研究開発の動向 新商品製造計画 営業情報	キーパーソン情報 客室情報 役員情報の動向 研究開発の動向 営業情報	
		セキュリティレベル → 大					
		音声情報の機密レベル					
		一般	重要	社外秘	秘	極秘	

日本情報安全管理協会 作成

従来の盗聴探査と今後の盗聴探査



今後、標準とされる探査機材 (日本情報安全管理協会推奨)		
機材写真		
機種名	スキャンロック M2 (オーディオテック社製)	フルーム ECM オーディオテック社製
	室内電波 / 電力線送電波 / 電話回線信号探知 / 電波測定・解析 埋蔵電子回路点検	

従来の探査機材			
機材写真			
機種名	SDU5600 (AOR 社製) AR3000A (AOR 社製)	NDM2000 (HSC-200) (日成技研社製) M-75 (Jim 社製)	LA310 (クラニシ社製)
用途	電波点検 / 波形観測	検知周波数点検	電界強度点検 / 周波数測定

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : jilcom@aioros.ocn.ne.jp